

会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回小金井みんなの給食委員会会議録
事務局	学校教育部 学務課
開催日時	令和2年2月12日(金) 午後3時～午後4時30分
開催場所	西庁舎第五会議室
出席委員	不破委員、内田委員、宇野委員、鈴木委員、片平委員、伊熊委員、飯田委員、松田委員、鈴木委員、坂口委員、山極委員、五十嵐委員、印牧委員
欠席委員	澁谷委員、林委員、大元委員
会議次第	(1)委員及び事務局職員の自己紹介 (2)会長及び副会長の選出について (3)コロナ禍における学校給食の提供について (4)今年度の活動内容について (5)その他 (6)次回の開催について
主な意見等	(1)委員及び事務局職員の自己紹介 (事務局) ・この給食委員会に最初から携わっている。今後ともご協力をお願いする。 ・栄養士をしている。よろしく願いする。 ・学校保健を担当している。よろしく願いする。 (委員) ・小中学校長会を代表して参加させていただく。給食委員会も最初からかかわっている。今後ともよろしく願いする。 ・前任者の代替で栄養教諭を務めている。よろしく願いする。 ・栄養士会を代表して参加させていただく。中学校に長くいたが、小学校は2年目。よろしく願いする。 ・東小学校で調理をしている。今年もやっとなら後1か月ということで少しほっとしている。 ・緑中学校を受託させていただいている。よろしく願いする。

- ・南中学校、小金井第一中学校を受託させていただいている。今年度は、コロナ禍ということもあり、試行錯誤しながら業務に当たっている。皆様と情報共有できればと思っている。
- ・小金井第二小学校、南小学校を受託させていただいている。よろしく願います。
- ・前原小学校、小金井第二中学校、東中学校を受託させていただいている。よろしく願います。
- ・PTAの代表ということで参加させていただく。楽しみにしている。よろしく願います。
- ・同じくPTAから出向で参加させていただく。学校では、子供のアレルギーに対応していただき感謝している。
- ・学校給食については、食べること、子供を育てるうえで必要だと思っている。また新たな気持ちでいきたいと思う。
- ・子供が小金井第一小学校、小金井第二中学校で給食のお世話になった。私もPTAの方にかかわらせていただいた。よろしく願います。

(2) 会長及び副会長の選出について

(事務局)

要綱第五条に委員の互選によることとなっている。会長に立候補あるいは推薦はあるか。

(委員)

これまでの経験や学校現場のことを考えると、不破委員を推薦したいと思う。

(事務局)

ただいま、不破委員を会長にどの推薦が上がってきているが、他にあるか。

他に無いようですので、諮らせていただく。会長を不破委員に決定することにご異議はあるか。

— 異議なし —

ご異議はないようですので、不破委員を会長に選任させていただく。

(会長)

力不足だが、この会を実りの多いものにしていきたいと思う。皆様のご協力をお願いします。

引き続き、副会長の選任に移らせていただく。副会長に立候補あるいは推薦はあるか。

(委員)

・私は内田委員を推薦する。市内の商店主として、市民の信頼が厚く、ネットワークも持っており相応しいと思う。

(会長)

内田委員を副会長にどの推薦があったが、他に推薦はあるか。

(委員)

・この会の目的が学校給食の見守りということになっている。
小中14校で1人の栄養教諭の伊熊委員を推薦したいと思う。

・伊熊委員は、産休代替ということだが何年位の予定か。

・年数は決まっていないが、1年ごとの契約になる。

(会長)

市民公募から内田委員、それから小中学校の栄養教諭ということで伊熊委員の2名が挙がっているが、2名を副会長に選任するというご異議はあるか。

一異議なし一

ご異議はないようですので、内田委員、伊熊委員を副会長に選任させていただきます。

(3) コロナ禍における学校給食の提供について

(会長)

それでは、コロナ禍における学校給食の提供について、飯田委員の報告をお願いします。

(飯田委員)

伊熊先生と分担して報告させていただきます。

(伊熊委員)

コロナ禍における学校給食だが、今年度は6月15日から始まった。どの学校でも今までと異なる取組をしている。まず、手洗い消毒だが、配膳室に行く前に必ずアルコール消毒をして配膳車を取りに行っている。手洗いは、今までは食前に洗うことになっていたが、食前食後の手洗いを徹底することとなった。給食当番やクラスの配膳については、配膳台を水拭きしていたが、コロナに効果がある次亜塩素を含んだ織布で行っている。それから、配膳については、密にならぬよう距離を取り、配膳台の前に立てる人数を制限し3人までとした。喫食については、食べる直前までマスクをすることとし、いただきますをしてからマスクを取り、食べ終わったらマスクをするよう徹底している。それから班にならずに全員が前を向いて喫食している。片付けについては、今まで班でまとめて食器を片付けていたが、今は、自分の食器は自分で片付けるなどの取組を行っている。現在もほとんどの学校が同じ取り組みを行っているようだ。

(飯田委員)

献立内容、委託会社の調理員の動きについて報告させていただきます。一学期の献立内容については、配膳するものを3つになるようにした学校が多かった。配膳するものが少なくなるよう品数や盛り付けなどを工夫した。それから、手でむく蜜柑などは避けるようにし、果物の代わりにゼリーなどを提供した学校もあった。パンについては、個包装で提供し、個包装で提供できない調理パンについては、お皿やフォークを

付けて提供した。直接触らないようにする工夫を各校行っていたとのこと。二学期の献立内容については、昨年と変わらない対応の学校もあったが、一学期と同じ対応をした学校が多かった。

次に調理員の対応ですが、休憩室やロッカールームの窓を開け、換気扇をつけて換気を行った。休憩や喫食時については、部屋や人数を分け、机にパーテーションを設置し、飛沫、密にならないような対応を行った。また、子供たちのマスクを作成したり、学校の消毒の手伝いをしたり、栄養士の手伝いとして給食掲示板の飾りつけなどを行った。

栄養士ですが、市のホームページで家でも作れるような給食のレシピを掲載した。

(会長)

何かご意見、質問はあるか。

(委員)

今、伺っているいろいろ工夫されていたんだと思ったが、国などから基準みたいなものはあったのか。

(飯田委員)

一応、文科省のさっくりしたものはあったが、細かい部分ではあまり無かったので、学校のいろいろな決まりがある中で、手探りで決めていき、守らなければならない部分は守りながら対応した。

(委員)

配膳台の水拭きから次亜塩素酸が含まれたもので拭いていると聞いたが、二学期も行われているか。

(飯田委員)

続けている。中学校では以前から次亜塩素酸を含んだ布巾を準備している学校も多かったが、小学校もこの機会に中学校と同じような次亜塩素酸を含んだやり方に変えている。ただ臭いが強いので、先生が拭いたり、布巾をビニール袋に入れ、直接触らないような工夫をした学校もある。

(伊熊委員)

次亜塩素酸を含んだ布巾で消毒することについては、全校で一斉にしているわけではなく、各校の判断で行っている学校もあれば行っていない学校もある。臭いが気になるとか、子供のことを考えて、各校が判断している。

(委員)

各学校の方で特別に気を付けたことがあれば伺いたい。

(委員)

・マスクを外しているときに感染する確率が高いということで、マスクを外して食べるときはしゃべらない、15分以内に食べ終わる、食べ終わったらすぐにマスクをすることを徹底している。また、教室をお借りして、社員とパートを半々にしてグループを分けて、もし片方のグループに濃厚

接触者が出て、給食調理が行えるような対応をした。あと、給食が無い時に作業効率の検討を行った。

- ・時間差で休憩、喫食をするよう指導をしている。研修については、ユーチューブで動画を作成し、個人が自宅等で研修を受けるという形に変更した。これまでは、研修会場で受講していたが、小さな子供がいて研修に出席できなかった方も自分の自由な時間で研修を受けることができ良かったと思う。

- ・同じような話になるが、2グループに分けてパート、チーフ、サブチーフを分けて休憩を取るよう指導を行った。距離を取れない休憩室もあるので、パーテーションを設置した。あと、調理中の作業導線で、調理員が交差しないような導線の検討を行った。

- ・皆様と基本的に同じで、濃厚接触者に認定されないために、昼食の取り方については、同時に食べるのではなく、時間差で喫食するよう強く指導を行った。

- ・お昼の食事については、場所が狭いので、Aチーム、Bチームに分けて喫食している。正規職員と会計年度任用職員が混在する形で分けている。

(4)今年度の活動内容について

(事務局)

来年度の委員会の開催日数は、4月、7月、11月、2月の年4回を予定。給食の試食については、7月か11月の委員会に合わせて、緑小学校にお願いする予定。農家見学については、作物の生育状況によるが、栄養士の代表に農家選定、日程調整等をお願いする予定。講演会については、実施時期は未定で、市民の方を対象に開催できればと思う。給食委員会独自で開催したいといった意見が強いので、この会の中で内容等決めていただきたい。なお、会場の予算は取っていないが、講師の報酬については要求している。

(会長)

事務局より説明があったが、試食会、農家見学については、例年通り実施でよろしいか。

それでは、試食会、農家見学については、例年通り実施することとする。

次に講演会だが、独自開催という意見が出たようだが、それについてどなたかご意見はあるか。

(委員)

催しについて、講演会と決めなくても良いと思うが、市民や保護者に向けて、何か行いたいと考えている。来年度も引き続き、このような状態が続くことが予想されるが、試食会や農家見学の開催の可能性についての基準など、どのように考えているのか伺いたい。それから、講演会だが、多くの方

に聞いていただくという意味でも、ズームやユーチューブなどを利用してみてはどうか。

(事務局)

来年度のコロナの状況にもよるが、試食会については、学校の行事に合わせてお願いしているところもあるので、来年の行事の開催状況が影響することが考えられる。現時点では、詳しくは申し上げられないと思う。農家見学については、屋外になると思うので、密を避けながらの開催はできるものと思う。

(会長)

コロナウイルスの感染状況によって、可否の判断をしていくということで、講演会については、ズーム等も可能性として考えていくということによろしいか。

それでは、この内容で進めていくという共通認識を持ったと理解する。

(5)その他

(委員)

・知り合いの家族が海外に引っ越されたが、そこの娘さんが小金井の給食を海外で懐かしく思っていて、小金井の給食はとてもおいしかったと伺った。子供の記憶に残るようなおいしい給食を提供していることに感謝する。

・給食リーフレットが配られたが、どこで入手できるのか。それから作成の目的は。

(事務局)

食育リーダー会が作成したもので、今年度の4月に小中学校全児童生徒の保護者様に配布している。市のホームページから印刷できるようになっている。

(委員)

給食のロスについて伺いたい。友達のお子さんが、アレルギーでは無いが牛乳を全く飲まないそうで、それでも、毎日牛乳が配られ、毎日自分で捨てていると聞いた。担任の先生に言われて捨てているとのことだが、たまたま母親が毎日自分の手で捨てていることを聞いてショックを受けている。連絡帳に飲みたい子にあげられないかと書いたところ、そういうふうに対応すると書かれたことがまたショックだったようだ。アレルギーの子に対しては、最初から発注していないのかな、それだったらロスにならないが、手をつけない子の場合、先生の判断でロスになってしまうのか、ちなみに牛乳を捨てる行為をジャージャータイムと呼んでいるそうだ。小中学校では、残菜を肥料にするものがあるそうだが、どのように使われているのか、また、牛乳を捨てさせる行為を学校側はどのように考えているのか伺いたい。

(飯田委員)

アレルギーのある子には、飲む牛乳やバターとか乳を含むもの全て除去ということで提供しないことになっているが、アレルギーとは言い切れない子や苦手な子には提供している。私の見てきた中では、最初から配らないクラスの方が多い。学校やクラスにもよるが、現状おかわり用になっている。栄養士の立場からは、貴重なカルシウム源なので、一口でもいいから飲んで欲しいという気持ちがある。生ごみ処理機でつくられた肥料については、市内のイベントや市内の一部の農家さんの肥料になっている。

(委員)

苦手な魚とか、一口もつけないということもいいのか。

(飯田委員)

先生の指導としては、少しでもいいからとトングでちぎって欠片を渡して、残ったものがおかわり用になることが多いと思う。

(委員)

牛乳は、おかわり用に回すことが多いということか。

(飯田委員)

そうとも言えないが、その時の状況によって違うかと思う。

(委員)

子供たちに捨てさせるということもやり方の一つなんですか、例えば、一律に給食室に戻して学童にあげるとか、他に問題があるかもしれないが、何か対応はできないか。

(飯田委員)

再利用は衛生的に学童へということではできません。

(委員)

ロスの多いメニューとか決まっていますか、子供に聞くとホイル焼きのホイルの臭いがついていて、残してしまうと聞いている。ロスの多いメニューはその後、出さないようにするとか、子供たちが食べやすいように工夫するなどしているのか。

(飯田委員)

残ってきてしまったものについては、味が濃かったかなど、原因を考えて、何か別な味付けを考えたり、味を薄くしてみたりなどの工夫は、どの栄養士もされていると思う。

(伊熊委員)

残菜チェックをして残りやすい献立を把握している。例えば混ぜご飯は多く残るが、原因は苦手な食材が入っていることで残るのかなと思う。対応として、見た目を変えたり、味を変えたり、混ぜご飯の量を減らして、もう1品つけるなど工夫している。

(委員)

・牛乳を捨てる件について、市の中で大まかなルールがあってもいいと思う。市内のなかで余ったものをどうするかとい

うルールがあってもいいと思う。

・去年、武蔵野市の給食財団の方を迎えた会に参加して、いろいろ資料をいただいたが、すごく厳しい基準が書いてあったので驚いたが、小金井市では、国産小麦をどれくらい使用しているか伺いたい。武蔵野市では、うどん、中華麺に国産小麦を使用すると書いてあったが、小金井市では見つけられなかった。私は農薬の事があるので家庭では国産小麦を使っている。

(飯田委員)

国産小麦だが、うどんと中華麺については、学校給食会の指定工場から配送されるものを使用している。パンについては、国産の小麦を使ったパンもあるが、国産小麦では無い小麦を使用したパンが多いと思う。うどんについては国産小麦を使用していて、中華麺は国産小麦の麺もあったと思うが、両方ある。

(委員)

購入先を指定している理由は。

(飯田委員)

東京都学校給食会という財団法人から取っているので、変な外国産のものは使用していないと思う。小金井市では、パン、うどん、中華麺については、学校給食会の指定工場から購入することになっている。

(委員)

流れ的には、直営の給食の学校の無くしていく方向なのか伺いたい。

(学務課長)

直営校が4校ありますが、委託をする方向で協議している。理由としては、現業職である調理員については、市として新たな採用は難しい状況で、今の調理員が高齢化し定年を迎える方もいることから、給食を継続していく上で、民間の力を活用していくことを考えている。市の大きな方針として、民間でできるものは民間でという流れがあり、アウトソーシングできる業務は給食だけでなく、民間の力を活用していくこととなっている。実際、職員を雇用するよりも、民間委託の方が財政的な効果もある。現在は、職員団体と協議をしている。給食の質が落ちているということではなく。今後も給食の質を維持できるよう検討する。

(委員)

食材の調達は、小金井市の方が発注したものを使っているのか。

(飯田委員)

食材の発注は、栄養士の仕事で委託会社の調理員や直営の調理員は、栄養士の発注した食材で給食を作っている。

(委員)

	<p>食材の選定は、委託会社ではなく、小金井市が行うということに変わりはないか。</p> <p>(飯田委員)</p> <p>はい。</p> <p>(委員)</p> <p>そこがぶれなければ、安全な食材、質の低下につながることは無いと思う。</p> <p>(飯田委員)</p> <p>2年に1回、小金井市で公募した業者さんの中から選定した業者と契約して購入することになっている。</p> <p>(委員)</p> <p>今の小金井市の給食は、直営、委託にかかわらず様々な手立てで守られていると思うが、その大きな一つに栄養士の各校配置ということがある。他の自治体では、各校配置になっていないところもあるが、各校配置になっている良さを伺いたい。</p> <p>(飯田委員)</p> <p>小金井市の経験しかないが、各校に栄養士がいるということは、給食室で何かあった場合にすぐに駆け付けることができるなど、現場の状況を把握しやすい、また、先生方、養護教諭とも連携がとりやすいなどのメリットもあり、各校に栄養士が配置されているということは、大事なことだと思う。</p> <p>(伊熊委員)</p> <p>飯田委員からも話があったが、学校の現場を詳しく把握しているところや、残菜についても対応がしやすいと思う。</p> <p>(6) 次回の開催について</p> <p>(事務局)</p> <p>次回の開催ですが、令和3年4月19日又は26日に開催したい。</p>
<p>決定事項</p>	<p>(1) 会長：不破委員、副会長：宇野委員、伊熊委員</p> <p>(2) 今年度の活動内容について</p> <p>ア 給食の試食</p> <p>イ 農家見学</p> <p>ウ 講演会</p>
<p>次回の開催</p>	<p>(1) 次回の開催日程等について</p> <p>日時 4月19日(火)又は26日(火)</p> <p>午後3時から午後4時30分</p> <p>場所 小金井市役所西庁舎第5会議室</p>